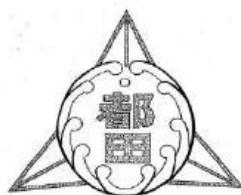


令和7年度
第3回学校運営協議会



令和7年12月17日(水)
浜松市立都田小学校

第3回 浜松市立都田小学校運営協議会

日時 令和7年12月17日（水）
午前9時30分～午前11時50分
会場 浜松市立都田小学校 運動場・会議室

〈 次 第 〉

司会 教頭

- 1 受付・・・午前9時20分～【玄関】
- 2 持久走記録会参観・・・午前9時30分～午前10時15分【運動場】
※雨天時・・・授業参観【各教室等】(2ページ)
- 3 開会の言葉・日程説明・・・午前10時25分～午前10時30分
【3階 会議室】
- 4 協議・・・午前10時30分から午前11時50分
 - (1) 会長挨拶【2分】
 - (2) 校長挨拶【2分】
 - (3) 前回会議録確認【2分】
 - (4) 議長の選出【1分】
 - (5) 学校評価の結果と今後の取組みについて（教務主任 地福）【8分】
 - (6) 熟議（議長）【55分】
 - ・学校評価の結果と今後の取組みについて（各グループ…40分）
- 【議題】
 1. 授業や行事で子供たちの様子を御覧いただいたり、学校評価の結果と報告を受けたりして、◎良かった点や継続したい点、▲課題点や改善点はどんなことだったか。
 2. 今年度は登下校中に子供同士のトラブルがあったり、クマの目撃情報があったりした。より安全に登下校するために地域や家庭でできそうなことは何かあるか。
 - ・発表（各グループ…5分）
 - ・合議（10分）
- (7) その他【2分】
 - ・学校支援コーディネーターより（活動報告、研修参加等）
- (8) 連絡（教頭）【8分】
 - ・第4回 浜松市立都田小学校 学校運営協議会（議長： ）
令和8年2月26日（木）午後1時～午後3時30分
 - ・第4回学校運営協議会の内容について
(6年生を送る会参観、R8学校経営構想の承認、協議会の自己評価、学校いじめ基本方針の見直しについて等)
 - ・オブザーバーより（協働センター田力氏）
 - ・教育委員会より（牧野指導主事）
- (9) 閉会

令和7年度 浜松市立都田小学校 学校運営協議会委員

役職	No.	名前（敬称略）	所属、役職等	熟議グループ
	1	コバヤシ ソウチ 小林 宗吉	都田地区自治会連合会 前会長	A
	2	ヤマシタ イヅ 山下 英治	滝沢放歌踊り保存会 会長	B
	3	ハタノ チヅコ 波多野千津子	浜松北地域まちづくり協議会 会長	A
	4	モリガミ シズミ 森上 茂美	主任児童委員	B
	5	カガヤマ ヨシヒサ 影山 善久	都田小学校 元PTA会長 学校支援コーディネーター	B
	6	ウチヤマ ヒトミ 内山 眠	都田小学校 元PTA会長	B
	7	アミ ワタル 渥美 渡	都田小学校 前PTA会長	A
	8	マツシマ ナオト 松嶋 千智	都田小学校 PTA会長	A

学校職員

1	佐々木 加也 佐々木 和也	校長
2	タカラヤシ ヒデシ 高林 秀仁	教頭
3	ジフク キヨカ 地福 清香	教務主任 CS担当教員
4	スギウラ ヒトミ 杉浦 ひとみ	CSディレクター

オブザーバー

	ダガ シュウタ 田力 秀太	浜松市都田協働センター
--	------------------	-------------

教育委員会

	マキノ トモコ 牧野 知子	浜松市教育委員会教育総務課CS担当
--	------------------	-------------------

令和7年度 第2回 都田小学校 会議録（要点記録）

1 開催日時 令和7年7月2日（水） 13時05分から16時00分まで

2 開催場所 都田小学校 会議室

3 出席委員 山下 英治、波多野 千津子、森上 茂美、
影山 善久、内山 眇、渥美 渡、松嶋 千智

4 欠席委員 小林 宗吉

5 オブザーバー 田力 秀太（都田協働センターCS担当）

6 学 校 佐々木 和也（校長）、高林 秀仁（教頭）、
杉浦 ひとみ（CSディレクター）

7 傍聴者 なし

8 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 ひとみ

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10 熟議

（1）授業参観と事後研修について

（2）前回の意見を踏まえて、具現化の仕方について

Aグループ：小林、波多野、渥美、松嶋

Bグループ：山下、森上、影山、内山

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業参観と事後研修について

授業参観では5年1組の図画工作科の授業を見て回った。授業終了後には職員と協議会委員を交えての事後研修が行われた。

（2）前回、挨拶と体力向上に向け今後どのような取り組みができるか話し合い、
今回はそれを踏まえて具現化の仕方についての話し合いが行われた。

Aグループ

<挨拶>

- ・子供主体で挨拶ができるようになると良い。→ゲームやレクリエーション感覚で楽しく。(カードを使う。)
- ・挨拶する意味を子供たちが理解できるよう、道徳の時間に取り入れる。
- ・昇降口で「さようなら。」「また明日。」などの挨拶の練習をする。
- ・家庭での挨拶をP.T.Aから呼び掛ける。
- ・家庭で、親が子供の挨拶ができたかチェック、子供も親の挨拶をチェックする。
- ・親子のコミュニケーションができていれば、外でも自然にできるようになる。

<体力向上>

- ・親子で縄跳びをする。
- ・縄跳びカードなどを取り入れる。

Bグループ

<挨拶>

- ・家庭で挨拶週間を実施する。「おはよう」「ただいま」「ありがとう」「こんにちは」が言えたかどうかチェックする。
- ・親から挨拶をすることで、子供も挨拶を自然とするようになる。

<体力向上>

- ・日々続けられるもので取り組む。
- ・ほんの少しの時間でもストレッチをして体を動かす。

12 その他報告事項

教頭から例年実施されてきた、都田川でのアユの放流や生き物調査に関わる地域ボランティアの方が高齢化の為、新しく都田川や生き物に詳しい方を募集しているとの報告があった。また、7月から学校の西側の道路の拡張工事が行われているとの説明があった。次回、学校運営協議会は12月17日(水)9時45分から会議室で行われるとの報告があった。次回議長選出について委員に意見を求めたところ、森上委員から渥美委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

学校運営協議委員 雨天時の参観授業について

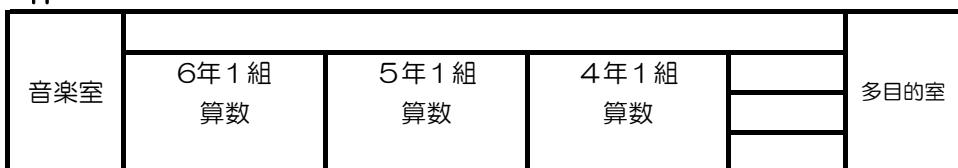
日時 12月17日（水） 午前9時20分～午前10時05分

授業一覧

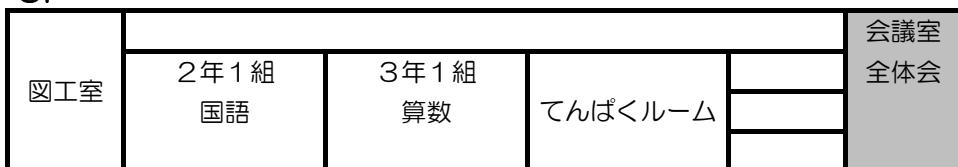
学年	担任	教科等	場所
1年	鈴木 隆仁	算数	教室
2年	宮津 若葉	国語	教室
3年	杉山 幸子	算数	教室
4年	鈴木 孝雅	算数	教室
5年	浅井 愛架	算数	教室
6年	中村 佳世	算数	教室

校舎案内図

4F



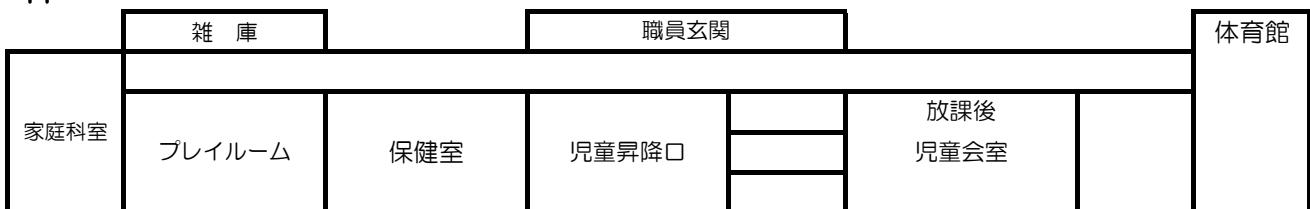
3F



2F



1F



みやこだ

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/miyakoda-e/>

<都田小 学校教育目標>

「夢に向かって 命を輝かせる子」

—浜松市立都田小学校—

令和 7年 9月 30日

学校だより 特別号

全国学力・学習状況調査の分析結果と対策について

日頃より、本校の教育活動に多大な御支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、4月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、本校にも送付されてきました。本校の状況について分析を行いましたので、御一読ください。結果を全学年の傾向として考え、児童の課題を把握し、さらに指導の工夫改善を行っていきたいと考えます。今後も一人一人の関わり方や、学習指導法についての研修を深めていきたいと思います。

☆国語科☆【分析結果】 ○よかったです ●改善点

- 経験したことから主張を簡潔にまとめた文章を選択することができる。
- 問われていることを理解し、資料の中から必要な情報を見つけ、書き抜くことができる。
- 資料の伝えたい主題を適切に読み取り、大切な言葉を抜き出すことに課題がある。
- 適切な漢字を書くことに課題がある。

【対策】

- ・文章の主題や要点を読み取ることができるようにするために、発達段階に合わせた長文を読む機会を設けたり、様々な分野の読書活動の充実を図ったりする。
- ・同音異義語を正しく理解し、言葉の意味を考えて漢字を使えるようにするために、継続的に書き取りや単元テストなどに取り組み、定着を図る。

☆算数科☆【分析結果】 ○よかったです ●改善点

- グラフの読み取りや計算等の基礎的な力が身に付いており、確実に解けている。
- 問題文が長くても、指示がはっきりしている問題は、自分の力で解くことができる。
- 無回答がなく、諦めずに問題に取り組むことができている。
- 長い問題文の中で、何を求めればよいのかを読み取ることに課題がある。
- 問題文を最後まで読まずに解答してしまうことがある。
- 感覚的に数の大きさを捉えることに課題がある。

【対策】

- ・ 答えの求め方を言葉で説明する学習を取り入れる。その際、説明に入れなければいけない言葉などの条件をつける。
- ・ 単位が変わったときに、既習の単位のいくつ分なのかをしっかりと押さえ、反復練習を行う。
- ・ テープ図や数直線だけでなく、見た目で違いが分かる具体物を使った学習を取り入れる。

浜松市立都田小学校

「夢に向かって 命を輝かせる子～河西訓導から学ぶ「命の尊厳」～」



キャリア教育
付けたい力



★理科★【状況分析】 ○よかったです ●改善点

- 問題を解決するための実験の方法を発想し、自分の考えをもつことができた。
- 結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、自分の考えをもつことができた。
- 植物の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出すことに課題が見られた。
- 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が定着していなかった。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能の定着が不十分だった。

【対策】

- ・ 教師が問題を与えるだけではなく、児童が疑問点を問題にし、予想を立て、問題を解決するための実験方法を考える学習過程を大切にする。
- ・ 用語の意味を正しく理解していないため、その意味はもちろん、使い方や具体的な自然の事象と結び付けて理解し、知識が概念として定着するようにする。

★質問紙調査★ 日頃の生活、学習習慣についての設問

○よかったです ●改善点

【分析結果】

- 先生から認められないと感じている児童の割合が全国より約30%高い。
- 地域との関わりが強いと感じる。習い事以外で、地域の人と遊んだり、勉強したりしている児童の割合が全国よりも約30%高い。
- 学習の中で、自分の考えを発表するときに工夫したり、組み立てを考えて話そうとしたり、自分の考えを深めながら、話し合い活動に取り組んだりすることができると回答している児童の割合が高い。本校のキャリアの力（聞く・伝える力、チャレンジする力、考える力、つなげる力など）を意識した学習に取り組んできた成果だと思われる。
- 授業や活動では、周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題を解決することができると回答している児童の割合が高い。6年生までの授業の中で、課題に対しての取り組み方の指導を積み重ねてきた成果が表れている。
- 「自分には良いところがある」と感じている児童が、県や全国平均をやや下回っている。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問い合わせでは、100%そう思うと思って欲しい項目である。

【対策】

- ・ いじめの認識については、昨年度に引き続き100%になるように手立てを打っていく必要がある。道徳の学習だけでなく、エンカウンター活動など学級活動においても友達や自分の良さに気付くことができるような活動を意識して取り組んでいく。
- ・ 児童が主体的に学び、学習への意欲が維持していけるよう、学習したことが定着し、「できた」「わかった」と感じるような授業を心掛けていく。

以上のように、児童の実態から対策を考え、全職員で取り組んでいきます。今後とも、御理解、御協力をお願ひいたします。

(様式1)

学校番号 (小・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立()学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・学校支援活動をより積極的・自発的に行いたい。その結果を振り返ることで、活動を充実させていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

<本年度の目標>

- ・学校支援活動をより積極的・自発的に行いたい。その結果を振り返ることで、活動を充実させていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名()

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を記載する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標となっているか、また、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

令和7年度 学校経営構想

＜浜松市の教育理念＞ 「描く夢や未来の実現」（主体性、多様性・包摂性、信頼・協働）

＜浜松の教育で目指す子どもの姿＞

○自分らしさを大切にすることも ○他者と協働し、主体的に行動できるこども ○自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

＜都田中学校区 目指す子供像＞ ○夢に向かって努力する子 ○郷土を愛し、郷土に誇りをもつ子

学校教育目標

夢に向かって 命を輝かせる子

みらいにむかって やりぬく力 こころやさしく だいすき都田

学び合う子【知】 (重点目標)

- 相手の思いや考えを受け止めながら聞くことができる。
- 学びと社会や将来の関わりに気付き、進んで学ぶことができる。

心豊かな子【徳】 (重点目標)

- 心を込めた挨拶をすることができる。
- 自他のよさや違いを大切にすることができます。

元気な子【体】 (重点目標)

- 進んで運動することができる。
- 命を大切にすることができます。（自分の心や体を自己管理する。）

キャリア教育を根底にした教育活動の推進 Well - being

＜キャリア教育＞ 教科学習や教科外活動等を通して子供に育てたい基礎的・汎用的能力



聞く・伝える力

人間関係形成・社会形成能力



チャレンジする力

自己理解・自己管理能力



考える力

課題対応能力



つなげる力

キャリアプランニング能力

主体的・対話的で深い学びを実現する授業

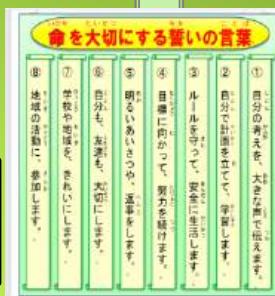
楽しい学校づくり

(温かな人間関係づくり・ほかほかメッセージ・天白班遊び)

目指す学校像

- 子供・保護者・地域の方・教職員が笑顔になる学校
- 子供の学びを未来につなぐ学校

～河西訓導から学ぶ「命の尊厳」～ 命を大切にする誓いの言葉



保護者や地域の方との連携・協働

- 家庭や地域の声を生かした教育活動
- 情報発信の充実

心身ともに健康で笑顔の教職員

- 子供の成長を第一に考える教職員
- 学び続ける教職員

地域とともにある学校・コミュニティ・スクールの推進

○地域の宝を生かした学習の充実（地域の人・もの・こととの関わり・都田のよさを発見・実感）

○地域の一員としての意識を高める活動

○地域の伝統の継承（放歌踊り・河西訓導から学ぶ）

令和7年度 よりよい都田づくりのためのアンケート結果 【7月調査】

目指す子供の姿・学校体制		補助説明	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	児童①	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	保護者①	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	教職員①	
【知 学 び 合 う 子】	1 こどもは、相手の思いや考え方を受け止めながら、話を聞くことができている。	★各学年のキャラリア聞く力、ちから聞く力が、できている。(★キャラリア教育の「自指す子供の姿」参照)	52.7%	40.7%	5.5%	0%	31.5%	56.5%	12.0%	0%	20.0%	50.0%	30.0%	0%	20.0%	50.0%	30.0%	0%
	2 こどもは、学んだことが、これから的生活や将来に役立つと思っている。	★各学年のキャラリア「つなげる力」について、理解している。(★キャラリア教育の「自指す子供の姿」参照)	86.8%	12.1%	0%	0%	43.5%	51.1%	5.4%	0%	40.0%	60.0%	0%	0%	40.0%	60.0%	0%	0%
	3 こどもは、進んで課題(問い合わせ)を見付け、見出しをもって活動することができている。	★各学年のキャラリア「考える力」が、できている。(★キャラリア教育の「自指す子供の姿」参照)	59.3%	36.3%	4.4%	0%	15.2%	57.6%	26.1%	1.1%	20.0%	70.0%	10.0%	0%	20.0%	70.0%	10.0%	0%
	4 こどもは、学校での定着させたり、深め広げたりするため、「自分合った取り組み方」を考えて家庭学習で取り組んでいる。	※個々の本が持つべきべき、かんがちから、かわいい、かわいくらい、など、自分合った学習の内容や方法(OC活用を含む)を考え取り組んでいる。	63.7%	28.6%	7.7%	0%	21.7%	53.3%	22.8%	2.2%	10.0%	70.0%	20.0%	0%	10.0%	70.0%	20.0%	0%
【徳 心 量 かな 子】	5 こどもは、心を込めた挨拶をすることができている。	※日本学生連盟(あいさつ連盟)です。あいさつ連盟は、日本学生連盟(あいさつ連盟)の中でも特に心からおもてなしを大切にしている、じんじんひきの、あいさつ連携行動で、第一回、自分たちの連絡会を開催できる。	72.5%	22.0%	5.4%	0%	48.9%	42.4%	8.7%	0%	20.0%	40.0%	40.0%	0%	20.0%	40.0%	40.0%	0%
	6 こどもは、自分のよきがわを自分に指して努力している(※)。	★各学年のキャラリアチャレンジする力」ができる。	70.3%	20.9%	6.6%	2%	26.1%	64.1%	9.8%	0%	30.0%	60.0%	10.0%	0%	30.0%	60.0%	10.0%	0%
	7 こどもは、友達のよきや違いを認め(※)、友達を大切にする(※)ことができる。	※相手の発言や行動を非難せず、よさをほめたり、相手の気持ちを考えて行動したりしている。	73.6%	20.9%	5.2%	0%	45.7%	50.0%	4.3%	0%	40.0%	50.0%	10.0%	0%	40.0%	50.0%	10.0%	0%
【体】 元 気 な 子	8 こどもは、進んで運動している。	※体育力アップカードを活用したり、運動イベントに参加したり、苦手な運動にも挑戦したりしている。また、昼休みや放課後には、積極的に外に出で遊んでいる。	60.4%	27.5%	7.7%	4.4%	48.9%	34.8%	14.1%	2.2%	20.0%	70.0%	10.0%	0%	20.0%	70.0%	10.0%	0%
	9 いのちを大切にした命を大切にし、自分の命と体を大切にしている。	※草履早起き朝ご飯やメディア時間に気を付けていたり、こども自身やメディアコントロールの活動を基に、落ち穂いに拾うなど、自分の命と体に出て遊んでいる。	78.0%	19.8%	2.2%	0%	28.3%	56.5%	15.2%	0%	20.0%	60.0%	20.0%	0%	20.0%	60.0%	20.0%	0%
その他 学校 体制	10 家の人は、子供たちの良いところや頑張ったことをほめたり、できること・得意なことが増えるように励ましたりしている。	※家の人たちは、子供たちの良いところや頑張ったことをほめたり、できること・得意なことが増えるように励ましたりしている。	81.3%	15.4%	1.3%	0%	43.5%	52.2%	4.3%	0%	30.0%	70.0%	0%	0%	30.0%	70.0%	0%	0%
	11 学校は、子供たちの良いところや頑張ったことをほめたり、できること・得意なことが増えるように励ましたりしている。	※学校は、子供たちの話を聞いたり相談にのつたりしている。	80.2%	14.3%	5.3%	2%	63.0%	34.8%	11.1%	0%	30.0%	70.0%	0%	0%	30.0%	70.0%	0%	0%
	12 学校は、子供たちの話を聞いたり相談にのつたりしている。	※対話しながら、話し合いながら、意見を交わしながら、など。	83.5%	12.1%	1.3%	0%	42.4%	55.4%	2.2%	0%	10.0%	90.0%	0%	0%	10.0%	90.0%	0%	0%
	13 学校は、子供たちのことについて、相談がしやすい。	※便りやホームページ、されんらう連絡網などの方法で、学校の情報や子供たちの様子を発信している。					50.0%	46.7%	3.3%	0%	20.0%	70.0%	10.0%	0%	20.0%	70.0%	10.0%	0%
14							60.9%	39.1%	0.0%		20.0%	80.0%	0%	0%	20.0%	80.0%	0%	0%

令和7年度 よりよい都田づくりのためのアンケート結果 【11月調査】

第3回学校運営協議会 熟議シート

1. 授業や行事で子供たちの様子を御覧いただいたり、学校評価の結果と報告を受けたりして、
◎良かった点や継続したい点、▲課題点や改善点はどんなことだったか。

【◎良かった点や継続したい点】

【▲課題点や改善点】

2. 今年度は登下校中に子供同士のトラブルがあったり、クマの目撃情報があったりした。より安全に登下校するために地域や家庭でできそうなことは何かあるか。